



KCC 片倉コープアグリ株式会社

事業取り組み紹介

2025年5月20日



社会課題への対応

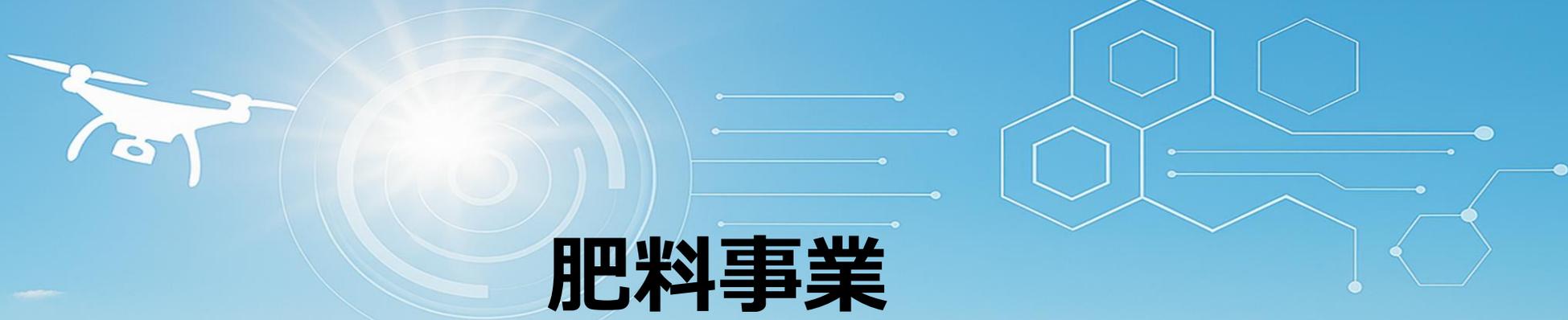
SDGsにおいて、農業分野は食料供給、環境保持、雇用の創出等生物圏・社会・経済のすべてに深く影響を与えており、SDGsの達成に農業の発展は必要不可欠だと言えます。

片倉コープアグリは、100年の歴史で培った技術力と製品開発力により、農業の発展へ貢献し続けることでSDGsの実現を支援していきます。



社会課題の達成へ貢献





肥料事業

持続可能な農業の実現に向けた 当社製品と技術の展開

【製品情報サイト】

[肥料製品情報サイト | 片倉コープアグリ株式会社](#)
[片倉コープあぐりチャンネル - YouTube](#)



肥料製品情報サイト



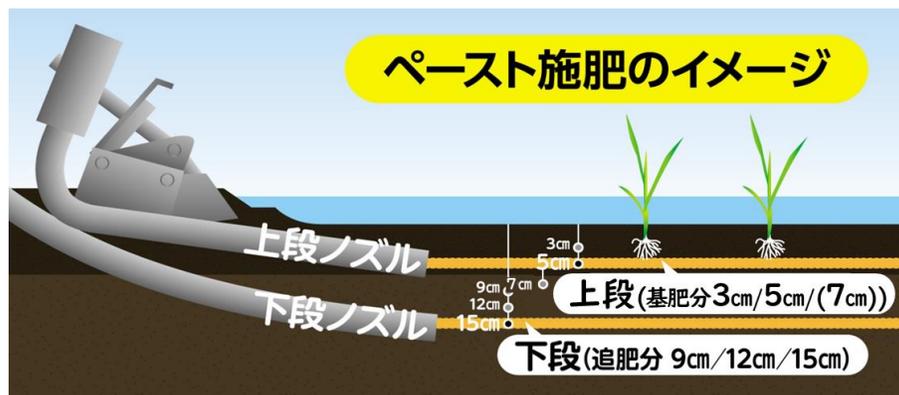
YouTube_片倉コープあぐりチャンネル

マイクロプラスチック問題

- ◆ 環境問題を第一に考える世界的な動きを背景に、海洋のマイクロプラスチックゴミ汚染の代表物質としてプラスチックを使用した被覆肥料の被膜殻が問題視されました。
- ◆ 全国農業協同組合連合会、全国複合肥料工業会、日本肥料アンモニア協会は、2030年までにプラスチックを使用した被覆肥料に頼らない農業を目指す取り組み方針ならびにロードマップを2022年1月に公表しております。

【当社グループの取り組み】

ペースト二段施肥技術の普及拡大



流し込み液肥



ドローン追肥対応銘柄の販売



当社グループは「**2030年にはプラスチックを使用した被覆肥料に頼らない農業に。**」を理想に掲げ、これからの時代にマッチした肥料製品ラインナップと共に、利便性の向上と自然環境への負荷軽減に向けてさらに努力してまいります。

みどりの食料システム戦略

みどりの食料システム戦略では下記の方向性が示されております。

- 環境保全の観点から、2050年までに輸入原料や化石燃料を原料とした化学肥料の使用量の30%低減を目指す中間目標として、**2030年までに化学肥料使用量の20%低減**を目指す
- **2050年までに化学農薬使用量の50%低減**を目指す

【当社グループの取り組み】

【有機物の循環利用】

国内で発生する堆肥等を有効活用した肥料の製造・販売



【施肥の効率化・スマート化】

- ◆ ドローン散布に適した資材の販売 (CORON等)
- ◆ リモートセンシング技術を用いた省力施肥の提案



【化学農薬使用量低減】

土壌還元消毒用資材の普及



また、当社グループでは安定した収量と品質の向上を支援するとともに、持続可能な農業の実現に貢献するべく**バイオスティミュラント分野**における製品展開を強化し、農業の未来を支える新たな価値創出に努めてまいります。

■ バイオスティミュラント資材（以下、BS材）とは・・・

日本国内では農家の高齢化や担い手不足、近年の記録的な高温や日照不足等の異常気象が農作物の生産に影響を与えており、BS材は、様々な環境ストレスに対する抵抗性を付与し、植物が本来持っている収量・品質ポテンシャルを引き出す新しい資材として注目を集めています。

■ 当社グループのBS材

ストロングリキッド	ソイルサプリエキス	スキープオン NEW	ユートリシャ™N NEW
 <p>“ストリキ”は作物の健全な成長を助ける!</p> <p>鉄 成長 代謝 葉緑素 健全な成長</p> <p>JAグループ KCC 片倉コープアグリ株式会社</p>	 <p>アミノ酸・有機酸強化濃縮液 有機農産物の日本農林規格 表 A.1 適合</p> <p>JAグループ KCC 片倉コープアグリ株式会社</p>	 <p>地球沸騰時代、作物の救世主。</p> <p>JAグループ KCC 片倉コープアグリ株式会社 Ac-Planta</p> <p>(2025年4月より販売中)</p>	 <p>●天然の窒素固定菌(Methylobacterium symbioticum SB23株)を含む微生物資材です ●微生物の力で空気中の窒素ガスをアンモニアに変換し、作物に養分として供給します ●生育期を通じた窒素供給で収量と品質が安定します ●どの作物にも使用可能です</p> <p>これは農業・肥料ではありません。</p> <p>製造元: Syngenta Business Development S.L. Avda. Jesús Martínez Cortada, 51 30200 Murcia, Spain</p> <p>BlueN Technology Powered by Syngenta</p> <p>333g/L</p> <p>(2025年6月より販売開始)</p>

当社は、高温・乾燥対策資材『スキープオン』を開発・製造するアクプラント社と協業し、2025年4月1日より北海道を除く全国で販売を開始いたしました。両社の強みを最大限活かし、農業生産者の皆様に課題解決の新たな手段を提供し、農業の未来を支える価値創出に努めてまいります。

理研ベンチャー企業と共に地球沸騰化に挑む



アクプラント(株)

【アクプラント株式会社】

- ◆ 理化学研究所の研究成果を社会実装するために設立された理研ベンチャー企業で、JAアクセラレータープログラム※の第1期採択・優秀賞受賞企業です。
- ◆ 研究成果は世界的に評価の高い学術誌Nature Plantsにも掲載されており、その世界に先駆けた研究成果を基に開発された革新的な資材が「Skeepon（スキープオン）」です。

※JAアクセラレータープログラムは、JAグループ全国8団体によるイノベーションラボであるAgVenture Labが運営する、「食と農、くらしのサステナブルな未来を共創する」オープンイノベーションプログラムです。



当社YouTubeにてスキープオンの紹介動画を掲載しております→

(写真右：アクプラント(株)金社長)



当社は、農薬・種苗分野のグローバルカンパニーである、コルテバ・アグリサイエンス日本株式会社及びコルテバ・ジャパン株式会社と業界の垣根を超えて協業し、窒素固定菌「ユートリシャ™N」の全国展開を2025年6月より開始いたします。

国内での系統流通販売及び普及を当社グループが担い、コルテバグループと密接に連携して、地域の農業生産者の皆様に向けた技術支援と普及活動を展開してまいります。

肥料と農薬の垣根を越えた業界横断型イノベーション



コルテバ
グループ

【コルテバ・アグリサイエンス日本株式会社、コルテバ・ジャパン株式会社】

- ◆ デュポン・パイオニア、デュポン・クroppプロテクション及びダウ・アグロサイエンスの強みを集結して設立されたのが、コルテバ・アグリサイエンスの日本企業です。
- ◆ 窒素固定菌「ユートリシャ™N」は、コルテバ・アグリサイエンスが開発・提供するバイオスティミュラント資材で、世界各国での利用実績をもとに日本国内向けに導入される製品です。



コルテバ・アグリサイエンス日本(株)と当社のキックオフ会議にて



資源循環の取り組み

持続可能な農業の実現に向けて、未利用資源の活用に取り組んでいます。

肥料は原料の多くを海外に依存しているため、国際市況や輸出動向の影響を強く受けやすい現状にあります。近年の肥料原料市況高騰や、国による「みどりの食料システム戦略」をうけ、国内で発生する堆肥や回収リン等の国内資源の活用に注目が集まっています。当社グループは、持続可能な農業の実現を目指し、国内資源の活用を積極的に進めております。

堆肥

- ◆ 堆肥利用拡大による土づくりの促進や施肥の省力化の観点から、肥料法における配合規制が柔軟化され、化学肥料と特殊肥料（堆肥）の配合が可能となりました。
- ◆ 当社グループは畜産堆肥に留まらず、キノ菌床堆肥等、日本全国で発生する堆肥を使用した肥料の製造・販売を行っています。



回収リン

- ◆ 汚水から回収できる回収リンは、安定的な供給が可能な都市資源として近年注目されており、各都市でリン酸回収施設の導入が進められています。
- ◆ 当社グループは福岡市の下水から回収された回収リンと福岡県内で発生するJAグループ畜産堆肥を使用した肥料『e・green』シリーズを展開中。



大麦発酵濾液

- ◆ 当社と三和酒類株式会社が連携して進めている麦焼酎副産物（大麦発酵濾液）の肥料原料活用の取り組みが、第1回令和6年度国内肥料資源拡大アワードにおいて『国内肥料資源の利用拡大に向けた全国推進協議会 奨励賞』を受賞！
- ◆ 大麦発酵濾液を使用した「ソイルサプリエキス」は有機JAS適合資材として全国各地で販売中。





農場グループの活動

農場関連の社会貢献コミュニティ活動の一環として、2022年10月に肥料本部内に「NEXT100農場グループ」を立ち上げ、茨城県つくば市内の未利用農地を借り入れ、農場経営の試行をスタートしました。

圃場を「**KCAみらいばたけ**」と命名し、当社の未来及び農業体験や地域のこども食堂での取り組みを通じて、地域・日本の明るい未来を創造するべく活動してまいります。

【体験イベント、体験農園の取り組み】

つくば市の農業から地域を盛り上げる活動を行う「ワニナルプロジェクト」に参画し、2024年10月にサツマイモ掘り体験イベントを実施しました。2024年度からは、つくば子ども支援ネット主催で体験農園の取り組みを開始しております。

【こども食堂等への食材提供】

収穫した農産物の一部はつくば子ども支援ネットを通じて市内のこども食堂やフードパントリー(食品無料配布会)に提供しております。

【社員研修の場として活用】

実際の農作業を交えた農業知見の蓄積に貢献していきます。



芋ほり体験イベントの様子



体験農園の様子



当社農場でとれた野菜を使用した献立



新入社員研修の様子

化学品事業

国内外フィールドへ向けた販売強化

【製品情報サイト】

[【化粧品原料】片倉コープアグリ株式会社 YOUTUBEチャンネル - YouTube](#)



化学品事業におけるサステナビリティへの取り組み

化粧品
原料

国際的なCSR評価機関Ecovadis社のサステナビリティ審査におけるブロンズメダルを継続

化粧品
原料

サステナブルな化粧品開発・生産を目的としたグローバル認証であるCOSMOS認証
(Cosmetic Organic Standard) の取得に向けて取り組みを継続

化粧品
原料

農業副産物等を利用したアップサイクル原料の販売を拡大

無機
素材

フードロス低減に向けたバリア材の開発・提案、
欧州リサイクル規制の対応に向けた紙素材へのバリア性付与の提案

無機
素材

マイクロプラスチック代替やUVケア製品用途等、環境に配慮した化粧品原料（合成雲母）の展開



▶▶ サステナビリティへの取り組みを推進し、更なる海外フィールドへの展開を進めてまいります。

2025年5月14日(水)～5月16日(金)にパシフィコ横浜において開催された「第12回化粧品産業技術展(CITE JAPAN 2025)」に出展いたしました。

今回、新原料として「カルチャーコラーゲン(表示名称：ヒトコラーゲン)」と「育毛用に開発した頭髪用原料(成分名：コウホネエキス)」を発表いたしました。また、肥料会社だからこそできるSDGsに絡めたオリジナル原料を提案しております。環境に配慮した肥料で農産物を栽培し、その農産物の廃棄部位を用いて、当社技術により差別化した化粧品原料を提案できる点が当社の強みです。



展示内容



展示会の様子

培養技術による『カルチャーコラーゲン』を販売開始！

世界初

『カルチャーコラーゲン』は、従来の異種動物由来のものとは異なり、当社独自技術を用いてヒト細胞が産生したコラーゲンを精製した、次世代型の化粧品原料です。

【カルチャーコラーゲンの特長】

- ◆ヒト細胞由来のコラーゲン
- ◆表示名称「ヒトコラーゲン」
- ◆真皮層のコラーゲン密度向上作用
- ◆抗炎症作用

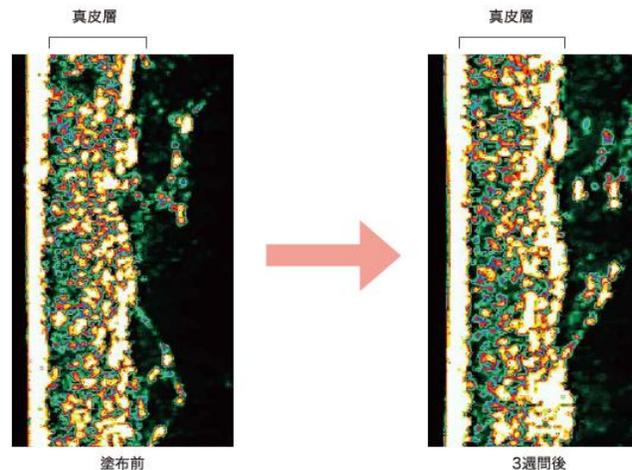
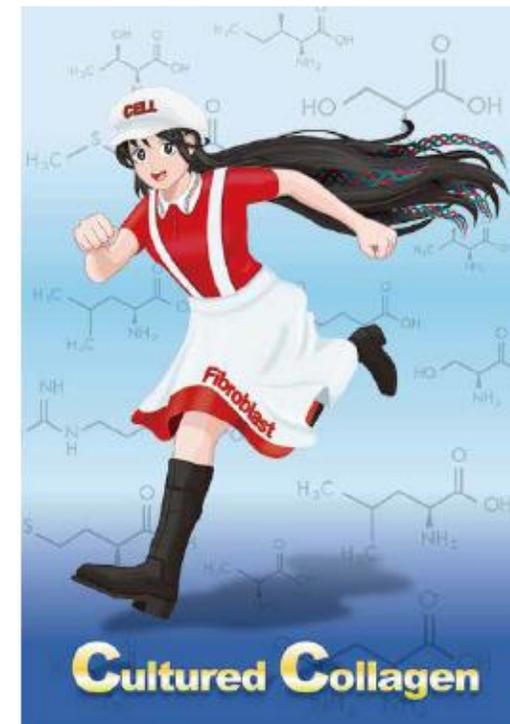


写真1 真皮層のコラーゲン密度向上作用

加齢に伴う真皮層のコラーゲン密度の減少は、皮膚の再生能力低下や、シワ・たるみの原因となります。『カルチャーコラーゲン』は、真皮層のコラーゲン密度を高める作用を有し、肌内部からハリと弾力を付与することで、美肌の基盤を構築します。また、抗炎症作用によって、肌トラブルを鎮静するだけでなく、肌への負担をかけない処方設計が可能です。



当社は、今後、化粧品市場の拡大が見込まれるインドネシアにおいて、販路拡大と新たなビジネスモデルの構築を目指し、化粧品原料販売における高いノウハウを有する『TAKAHA社』に対し、2024年12月に第三者割当増資引受を行いました。

当社はHALAL認証原料やECOCERT認証原料等、多様なニーズに対応した化粧品原料を取り扱っております。東南アジアではHALAL対応のスキンケア製品市場が今後、拡大する見込みであることから、TAKAHA社への出資によるシナジー効果を最大限に引き出し、インドネシア市場のみならず東南アジア諸国での競争力向上と持続的な成長を実現してまいります。



当社のHALAL認証原料
27品目（2025年5月時点）



インドネシアを皮切りに東南アジア諸国へ販路拡大

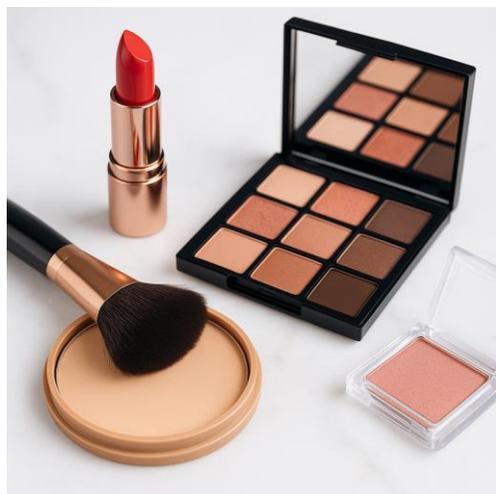
【化粧品原料関連】

① マイクロプラスチックビーズの代替

海洋汚染の原因となるマイクロプラスチックビーズに代わり、そのソフトフォーカス効果を代替でき、かつ環境にやさしい素材として、合成雲母の展開を進めております。

② UVケア製品への使用検討

紫外線による皮膚トラブルへの関心が高まる中、合成雲母の光拡散機能により紫外線防御力の強化が期待されており、従来用途に加えてUVケア製品への展開を進めております。



【包装フィルム関連】

① バリア包装フィルムへの利用

環境規制やSDGsを背景に、リサイクル可能な単一素材（モノマテリアル）フィルムの需要が高まる中、当社の合成雲母は優れたバリア性で注目され、海外市場への展開を加速しています。

② 紙素材へのバリア性付与

欧州を中心とした環境規制の強化を背景に、モノマテリアル・バイオマス・紙素材をベースとした包装材の開発が世界的に加速する中、当社の合成雲母は紙素材にバリア性を持たせる素材として注目され、グローバル展開を推進しています。

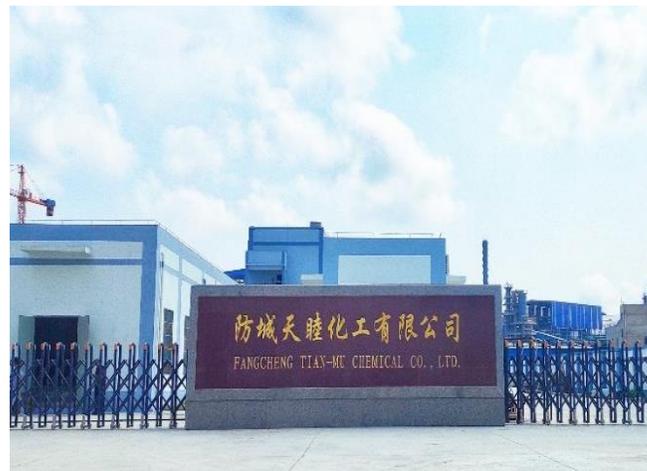




当社の工業用、食添用リン酸は、中国広西壮族自治区防城港市に1993年に設立した合弁企業〈防城天睦化工有限公司〉において生産し、ケミカルタンカーで日本に輸入、国内のお客様へ販売しております。

多様なニーズに応えるため、製造工場にてHALAL認証に加えてKOSHER認証を取得しており、これらの認証を活用しながら、リン酸を台湾、インドネシア、ベトナム等への海外展開を図り、新規顧客の開拓に取り組んでおります。

また、今後の成長を見据え、新たな市場展開に向けた事業スキームの確立に取り組んでおります。



合弁会社の業容拡大

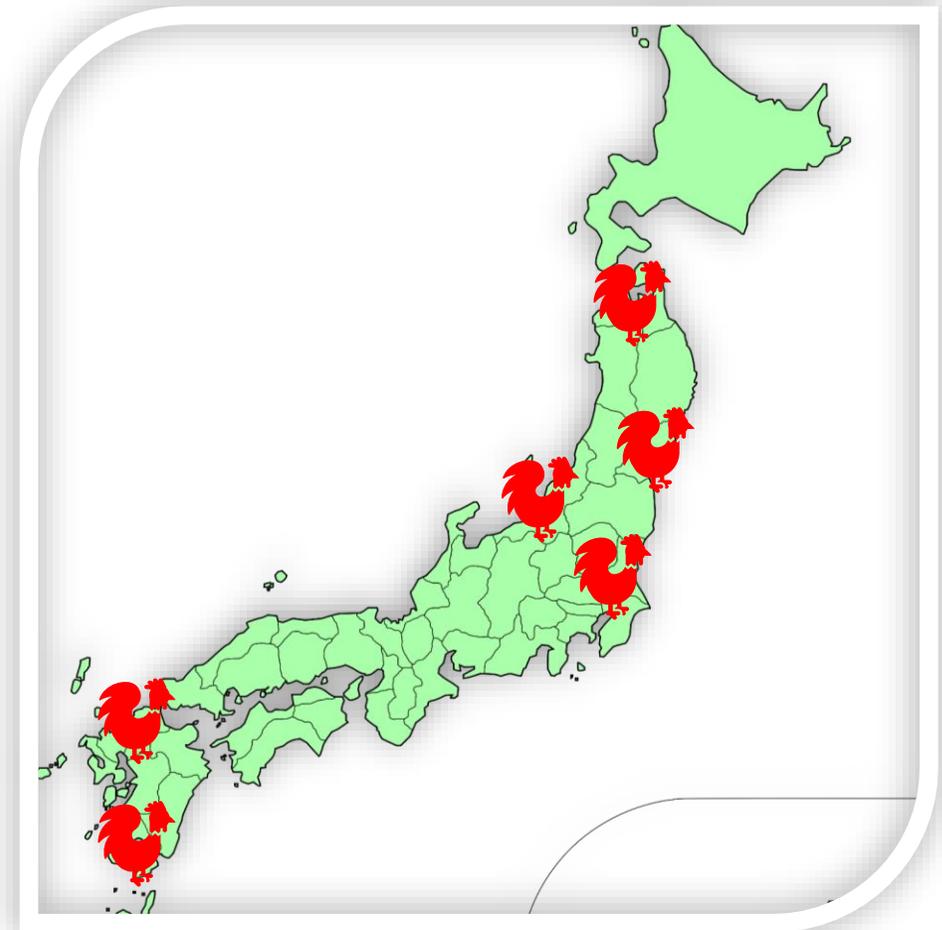


当社ではリン酸カルシウムや炭酸カルシウム等の飼料原料や飼料添加物を取り扱っております。

飼料原料の一つである『リン酸カルシウム』は動物が比較的多量に必要とする要素であり、動物の体内で大部分がリン、カルシウムの結合により骨格を形成しています。また、リンは各種酵素の一部を形成し生理と代謝に重要な役割を担っています。

当社では高品質なリン酸カルシウムを自社工場で製造、及び海外から輸入することで安定的な供給を行い、全国各地に設けたストックポイントをベースに広範囲な販売網を構築しております。

今後は取扱い飼料原料を拡大させ、事業展開を図っていきます。



当社のストックポイント



不動産事業



渋谷区 賃貸用ビル

当社は渋谷区において新たに土地交換で取得した土地に、賃貸用建物の建設を進めており、2025年8月完工を予定しております。

将来的に当社にとって安定した利益を生み出す資産とするべく、事業を進めてまいります。

【賃貸用ビル 概要】

住所 : 東京都渋谷区神南一丁目4番6 (地番)

階層 : 地上11階

延床面積 : 約3,000平方メートル

用途 : 1~3階 店舗、4~11階 事務所 等



ビル南側エントランス入口 (イメージ図)



渋谷公園通り側からのビル全景 (イメージ図)

稔り豊かな未来に貢献したい
<https://www.katakuraco-op.com/>